

3. 水害に強い地域づくりWG / (2) 長浜市虎姫地区

長浜市虎姫地区での平成29年度の取組状況

- H29.08.16: 宮部町(史談会)水害出前講座
- H29.09.22: 虎姫福祉の会 水害図上訓練
- H29.09.25.26: 虎姫小学校 水害に関する出前講座
- H29.09.30: 田町水害出前講座

- H29.10.09: 大道芸フェスタ in 虎姫前ブース出展
- H29.10.29: 大寺町役員 水害に強い地域づくりの取組に打診
- H29.10.31: 長浜キャンパス 水害出前講座
- H29.11.13: 唐国福祉推進委員会 水害出前講座

平成29年9月22日 虎姫福祉の会 水害図上訓練

虎姫福祉の会の方を対象とした水害図上訓練を実施しました。



【目的】

虎姫小学校4年生を対象とした水害出前講座を実施。虎姫の住民たちが、姉川、高時川、田川とうまく付き合いながら生活してきたことを、座学、フィールドワーク等によって気付いてもらう。過去の水害や現状の水害リスクを確認し、子供たちに防災について考えてもらう。



浸水歩行体験

子供たちの感想1

浸水(濁水)の歩行体験をしました。見えないうちには障害物が。足元を傘で確認しながらみんな慎重に歩いています。「長靴を履いて水の中を歩くときにくいなあ。」



子供たちの感想2

地面が低いので1階に逃げてはいけないJRの立体交差が一番低い、一番たまる。水が溢れると地面が分からなくなる。

平成29年10月09日 大道芸フェスタブース出展



地域のイベントにブース出展し水害啓発！

- 水害啓発のティッシュを1000個配布。
- 虎姫の水害に関するパネルを展示。
- 小学校での出前講座を受けた子どもも訪れ、小学校の出前講座との相乗効果を実感！

平成29年9月30日 田町 水害出前講座



【目的】

- 田町の自治会からの要請を受け、長浜市と一緒に出前講座を行った。

【概要】

- 今回の出前講座を受けて、今後地元でどう具体化していくかが重要であるとの発言があった。

今後の方針

ハード・ソフト対策一体的に進める。

河川整備	出前講座の実施
<ul style="list-style-type: none"> 湖北圏域河川整備計画策定 これまで これから 姉川、高時川の事業着手や田川の整備実施に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> (H27)大井町、月ヶ瀬、唐国、酢、田、三川 (H28)中野(老人会)、連合会、宮部 (H29)宮部、田、唐国 水害に強い地域づくりの取組について丁寧の説明し、未着手の自治会に対して、出前講座を実施する。
水害の啓発活動	虎姫の全体WG
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関が連携して、水害に関する啓発取組を行う 大道芸フェスタin虎姫前 虎姫小学校 これまで これから 継続して啓発活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 虎姫の全体WG H22年まで実施 地域全体の課題について協議

水害に強い地域づくりに対する住民気運の高まり・ハード・ソフト一体となった取組を実施
⇒ 次のステップへ(河川整備の促進、具体的な避難計画策定や避難所整備等)

3. 水害・土砂災害に強い地域づくりのWG / (3) 長浜市馬上地区

長浜市馬上地区での平成29年度の取組状況

【馬上地区WGの経緯】

H29.10.09：水害図上訓練
H29.12.13：家屋測量調査

平成29年10月9日水害図上訓練

- ・避難先として、高月小中学校、長浜市役所高月支所、小谷小中学校の3箇所が多数上がった。住居2階へ避難すると答えた者の中では、雨足が酷くなった場合、小学校へ移動するという意見が挙がった。
- ・指定避難所に逃げる場合は、川を横断できるか一つの避難のきっかけとなる。
- ・避難方法は車両が大半であったが、避難先や状況によっては徒歩で移動するという意見もあった。
- ・避難開始のタイミングは、避難勧告が発令された時という意見が多数を占めた。また早期の移動の開始、テレビ、ネット、ラジオなどで情報を収集したりという、主体的に行動を起こす考えが多く寄せられた。
- ・避難の際、高齢者・障害者世帯の避難援助の他にも、土嚢設置の準備など人手を希望する意見が多かった。
- ・既に住居周辺が浸水している場合、多くは2階へ避難するという意見だったが、危険が迫る場合は近隣の山など安全な場所へ避難するという意見もあった。また、家族の安否確認や貴重品の確保、ライフラインの確認など災害後を考えた意見もあった。

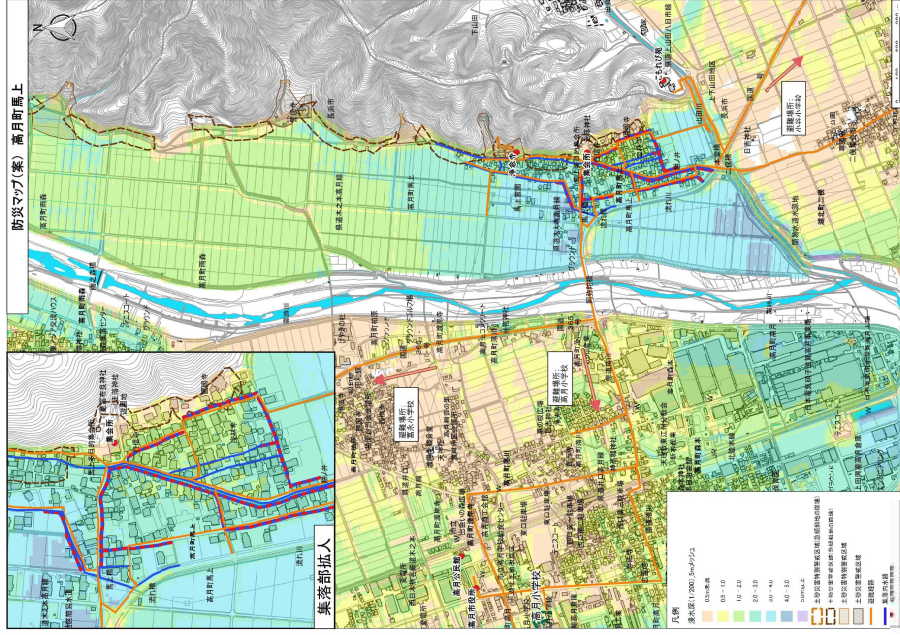


図上訓練の付箋台紙



WGの様子

馬上地区防災マップ(案)



平成29年12月13日家屋測量調査

【内容】

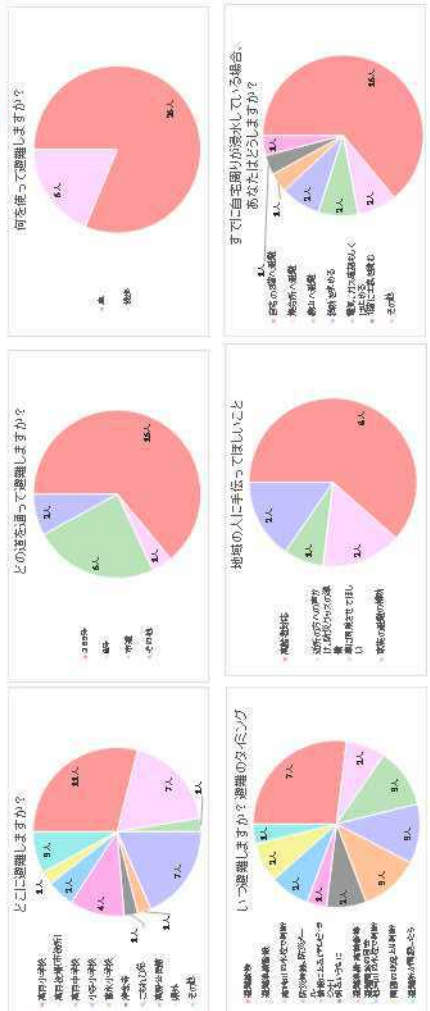
- ・地先の安全度マップ、最大浸水深3m以上のエリアの重ね合わせにより、各地区における対象家屋を確認した上で、他地区での既往調査と整合した現地測量・調査を実施。
- ・設定された基準に基づき、適合評価を行い、既往の調査結果と同様に各戸の浸水深の時間的変化を整理。

家屋番号	集会所	氏名	調査日時
------	-----	----	------



今後の予定

- ・避難計画策定に向けてまちなき等の実施
- ・安全な住まい方の検討のため、残りの家屋測量の実施



図上訓練の話し合いまとめ

3. 水害・土砂災害に強い地域づくりのWG / (4) 長浜市石道地区

長浜市石道地区での平成29年度の取組状況

- H29.10.24: 避難カード結果報告会
- H29.12.03: 水害履歴調査結果報告会
- H29.12.13: 家屋測量調査

平成29年7月14日 避難カード説明会

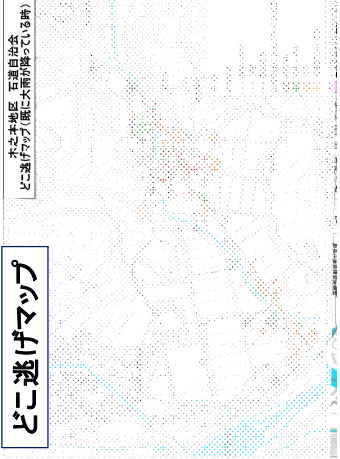
- 【目的】**
- ・H28年度は出前講座、水害履歴調査を実施、H29年度は馬上地区とともに水害協の取組を本格的に進めて行く。
 - ・H29年度は避難カードの取組から、そなえる対策を検討
 - ・避難カード作成の住民WGを開催。



平成29年10月24日 避難カード結果報告会

- 【目的】**
- ・避難カードの集計結果(どこ逃げマップ、お助けマップの説明)の報告。

どこ逃げマップ



お助けマップ



【石道地区WGの経緯】

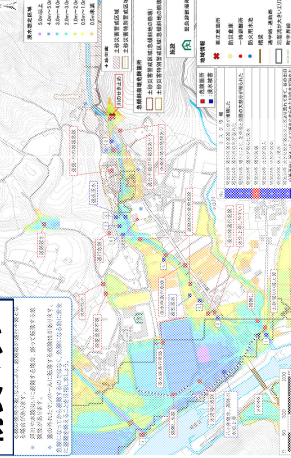
- H29.10.24: 避難カード結果報告会
- H29.12.03: まちあるき&避難についての話し合い
- H29.12.13: 家屋測量調査

表面

項目	内容
目的	我が家の避難カード (2017版)
実施日時	10月24日(水) 18:00~20:00
実施場所	石道地区公民館
参加者	石道地区WGメンバー、関係者
進行内容	1. 避難カードの目的と意義の説明 2. 避難カードの作成方法の説明 3. 避難カードの作成体験
結果	避難カードの作成が完了し、地域全体の避難計画が立てられた。
今後の課題	避難カードの普及と、避難計画の定期的な見直し。

※避難の順は順位の図がわかるように事前に、避難所までの距離を記入してください。

防災マップ



平成29年12月3日まちあるき&避難についての話し合い

- 【目的】**
- ・実際に現地を歩きながら、危険箇所や避難の目安について聞き取りを実施。
 - ・WGでは、避難時の考え方について意見収集。
 - ・出てきた意見をまとめて防災マップを作成

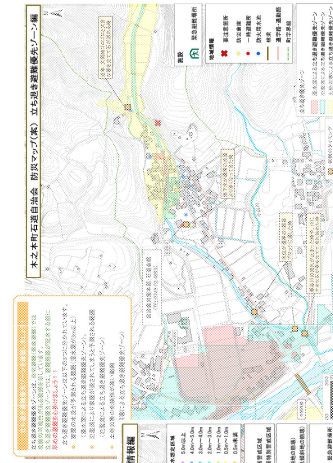


まちあるき



WG

平成29年12月13日家屋測量調査



安全な住まい方の検討

- 【検討内容】**
- 地先の安全度マップを基に、3m以上浸水するエリアについて、現地の地形を確認。



今後の予定

- ・現地に避難の目安となる量水標を設置
- ・地域のタイムラインを作成し、避難計画 (案) 作成

3. 水害・土砂災害に強い地域づくりWG / (5) 米原市醒井地区 (6) 長浜市木之本町川合地区 (7) 長浜市木之本町大見地区 (8) 長浜市余呉町下丹生地区 (9) 長浜市余呉町菅並地区

米原市醒井地区、長浜市川合地区、長浜市大見地区、長浜市下丹生地区、長浜市菅並地区での平成29年度の取組状況

【醒井地区WGの経緯】

H29.11.11：水害出前講座

H30.03.11(予定)：水害図上訓練

【川合地区WGの経緯】

H29.10.21：水害出前講座

【大見地区WGの経緯】

H29.09.02：水害出前講座

【下丹生地区WGの経緯】

H29.12.04：水害出前講座

【菅並地区WGの経緯】

H29.09.18：水害出前講座

水害出前講座

【目的】 水害、土砂災害のリスクや水害協の取組について説明

醒井地区 H29.11.11

- 【目的】 水害、土砂災害のリスクや水害協の取組について説明。
- 【概要】
- ・台風21号では、集落内の流れる地蔵川が溢れ、床上浸水2軒、床下浸水15軒あった。
 - ・醒井でもモデル地域となるような取組をしていきたい(自治会長)。
 - ・今後、取組を進めていくうえで、いかにして住民の参加数を増やすかが課題である。



川合地区 H29.10.21

- 【目的】 水害、土砂災害のリスクや水害協の取組について説明。
- 【概要】
- ・参加者は高齢者から子育て世代まで多様な世代構成であった。
 - ・指定避難場所の高時小学校は距離が遠いため、一時避難所である川合会館で初期対応できるよう、物資等の提供について、市と調整され、今後運用される予定。
 - ・台風5号や18号の際に避難勧告が出されたが、全住民ではなくリスクに応じた避難勧告の範囲を絞ることにして、水害協の取組の中で今後検討していく。



大見地区 H29.9.2

- 【目的】 水害、土砂災害のリスクや水害協の取組方等について説明。
- 【概要】
- ・大見は8月の台風5号の時に、集落を流れる高時川が増水し、県道の冠水や吊橋が流出するなどの被害が生じ、避難勧告が発令された。
 - ・身近に水害の怖さを体験している住民が多かった。



下丹生地区 H29.12.4

- 【目的】 水害、土砂災害のリスクや水害・土砂災害に強い地域づくりの取組内容等について説明。
- 【概要】
- ・質疑では、ダムの中止に関すること、維持管理に関すること(堆積土砂の撤去や高時川の濁水)河川整備に関する要望が多かった。
 - ・指定の避難場所まで距離が遠いため、どこに避難したら良いのかという質問があった。



菅並地区 H29.9.18

- 【目的】 水害、土砂災害のリスクや水害協の取組について説明。
- 【概要】
- ・菅並自治会は独自で水害に備える取組が行われている。
 - ・参加者は高齢の方が大半であった。



その他

「河川整備計画に基づき河川整備が進まないことには出前講座は受けられない」との理由で、水害に強い地域づくりの取組が着手できていない地区がある。
⇒ハードソフト対策を一体的に進める必要があるが、施設規模を上回る洪水に対して、命を守るための取組を行うことの重要性を住民に丁寧に説明し、理解を得た上で取組を進めていきたい。



今後の予定

- ・図上訓練やまちあるき等を実施し、地域の避難計画策定を推進

4. 長浜市・米原市における地域防災力向上の取組／(1) 長浜市

項目	内容	項目	内容
①防災訓練	10/15 総合防災訓練、11/19 原子力防災訓練	④自主防災組織育成	129件、111自治会に補助金を交付
②避難所整備	指定避難所の資機材整備・備蓄品購入(16避難所)	⑤災害対策体制確立	台風対応タイムラインの作成
③災害図上訓練	3連合75自治会で実施	⑥米川水防対策	米川のデータ解析とマニュアル改良

平成29年度の取組

【①総合防災訓練および原子力防災訓練】
 ・関係機関および市民がとるべき措置の実践と災害応急対策の習熟、関係機関相互の協力連携対策の確立をめざす。
 ⇒10/15に総合防災訓練を実施

・原子力災害時における市民および関係機関、原子力事業者がとるべき措置の実践と防災行動力の向上、原子力防災意識の高揚を図る。
 ⇒11/19に原子力防災訓練を実施

【②資機材整備、備蓄品購入】
 ・発災初期における円滑な避難所運営が図れるよう、指定避難所に資機材・備蓄品を整備する(3箇年計画)。
 ⇒本年度は、小学校16校に整備(最終年度整備)

【③災害図上訓練】

・地域の状況や特性に応じた「地区別防災マップ」や「地区別避難計画」を作成し、自助・共助・公助の協働による災害時応急体制の確立により地域防災力の強化を図る(平成24年度より実施、自治会数425)。
 ⇒3連合で75自治会に対して訓練を実施。累計352自治会。

【④自主防災組織育成補助】

・地域住民による自主防災組織の育成および防災意識の高揚を図るため、自治会等の災害時応急資機材購入、備蓄食料品購入、避難啓発、防災訓練実施にかかる費用の一部を補助。
 ⇒129件、111自治会に補助金交付

【⑤災害対策体制の確立】

・29年5号台風被害を受けて、災害事象を予測し、対応する具体的な行動計画を時系列で整理し、標準化
 ⇒台風対応タイムラインを作成、実行
 タイムラインに応じた職員招集、出動体制の標準化
 対応マニュアルの再整備

総合防災訓練の様子



防災備蓄倉庫



災害図上訓練の様子

【⑥米川水防対策】

・長浜市街地を貫流する米川について、長浜土木事務所(河川管理者)と共同で雨量や水位のデータ解析、水位上昇の要因分析等を行い、行動マニュアル(案)作成と水位予測モデル構築を実施済み。
 ⇒水位データの収集・分析を継続し、行動マニュアルの改良検討を実施



平成30年度の重点項目

【①同報系防災行政無線整備 H29～H33】

・平成27年度に移動系防災行政無線を更新整備

⇒同報系防災行政無線を、デジタル放送やFOMA帯電波、ケーブルテレビ網等と連携した災害時情報伝達システムとして再構築

・情報伝達手段の多重化、多様性に対応するため、個人や世帯へのプッシュ式の伝達ツールの採用(防災アプリ、戸別受信機、防災ラジオ等)

【②米川水防対策】

・県との共同によるデータ解析、水位予測モデルの検討に加え、水防管理者としての周辺環境整備

⇒資機材：資材倉庫、土のう置場確保、水防資機材(ポンプ、ライト)

・監視体制：簡易水位計による水位上昇遠隔監視(スマホ対応)

【③災害対策体制の確立】

・29年度策定の「台風対応タイムライン」の実証と、初動としての地域別配置職員による実動訓練の実施

⇒時点修正、支所機能見直しによる地域別配置職員体制の確立

・市内発生想定災害(地震編、水害編)対策本部、運営訓練の実施

【④災害図上訓練】

・地域防災力の強化を推進

⇒3連自治会28自治会で実施